

大好き！絵本

初瀬 恵美



新年あけまして おめでとうございます



『こたつうし』
作:かわまた ねね
絵:長谷川 義史
出版社:世界文化社

年末年始はいかがお過ごしでしたか？新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、ご家庭でゆっくりお過ごしになられた方も多いかと思えます。私も熊本に来て22年、初の熊本での年越しでした。自宅でゆっくり過ごしました。仕事が始まるといつ、どこで、誰が感染してもおかしくないという緊迫感はありますが、子どもたちは変わりなく、寒さに負けることなく元気に走り回っています。こんな当たり前の日常がいつまでも続いてほしいと心から願う新年です。

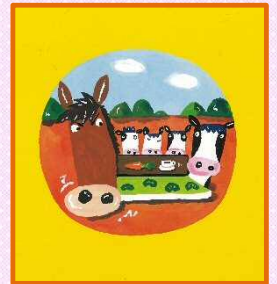
さて、今年の年賀状の絵本紹介は『こたつうし』を掲載させていただきました。表紙いっぱい描かれた明るい絵、そして「こたつ」と「うし」を組み合わせたおもしろいタイトルを見て、新年から明るい気持ちになっていただけたらという理由からでした。

「わたしは こたつうしです。さむくて こたつから でなくなったら、このような すがたに なりました。こたつと うして こたつうしです。」と始まるこの絵本。私も幼い頃、こたつから出て別の部屋へ移動するとき、「あ～、こたつから出たくない。こたつに入ったまま、移動出来たらな～」とよく思っていました。そんな“こたつあるある”が詰め込まれた絵本です。

しかし、この絵本を読んでみて気がついたことは、「こたつ」をしらない子もいるということ！高断熱・高气密の家が増え、エアコンの性能があがり、エアコンだけで充分暖かく過ごすことができるようになってきたからでしょう。こたつ文化は縮小傾向にあることを改めて感じました。そこで園児と読む前には「こたつって知ってる？」とたずねてから読むようにしました。「家にあるよ。」という子もいれば、「おばあちゃんちにあるから、知ってるー。」という子もいたり、「??」という子もいます。こたつ体験がない子にはわかりづらいお話しかな～と思います(笑)。しかし、絵を見ながら、こたつの上の定番の「みかん🍊」を喜んだり、「へんなうし～」と言ったりして楽しんでいます。

また、「こたつは どう?」「モーさいこう!」などのダジャレもちりばめられています。ダジャレ文化も縮小傾向。ちょっと子どもたちにはわかりづらいかな～と感じます。子どもにも分かりやすく、楽しんで笑ってもらうには、読むテクニックがいる絵本です🍀

そんなこんながありますが、長谷川さんの絵にほっこり楽しませてもらえる絵本です。裏表紙には、そこからまた物語がはじまりそうな絵が描かれています。



誕生日おめでとう

1月

